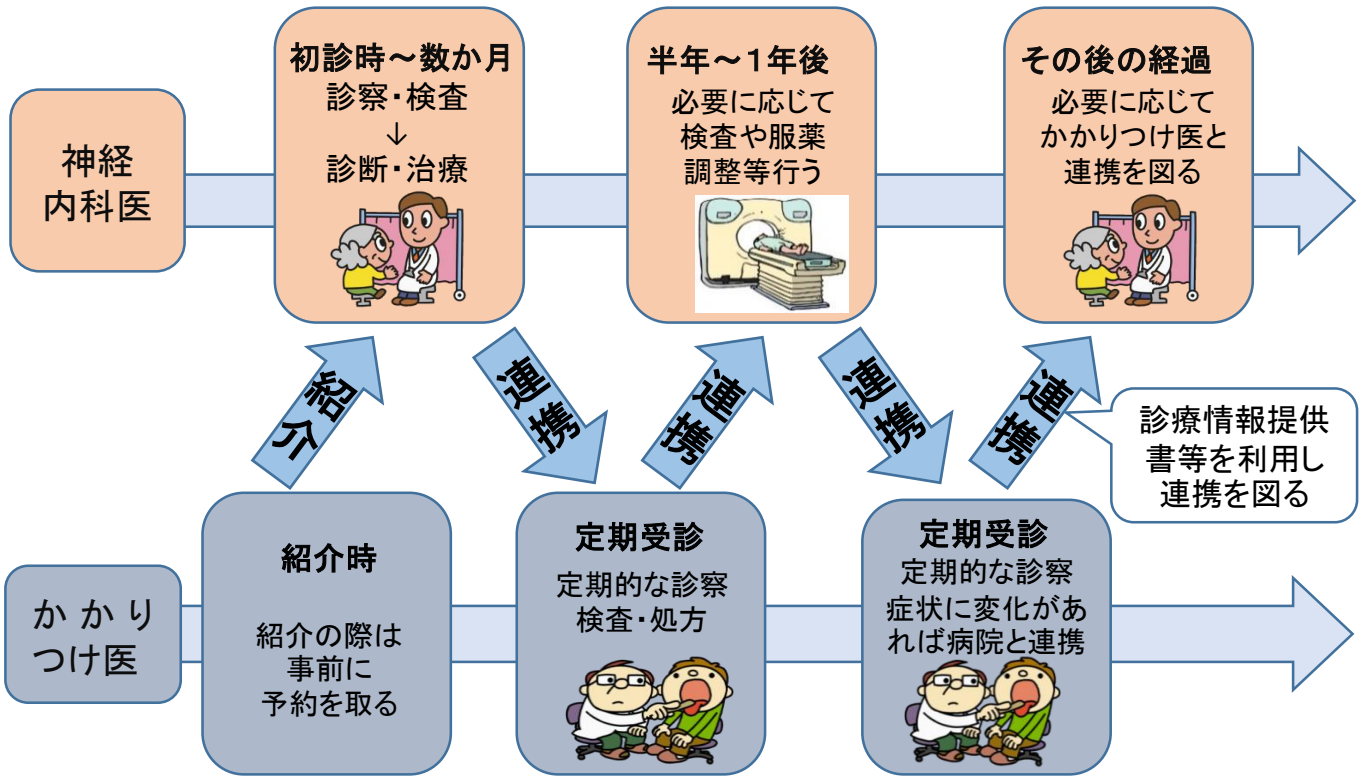


ふなばし神経難病地域医療連携について

別紙1

神経内科医とかかりつけ医が連携しながら、それぞれの専門性を生かしつつ診療を行います。神経内科医から、医療連携について相談があった際は、下記Aタイプ、Bタイプ、別添診療情報提供書(様式1)(様式2)を参考に情報共有をお願いします。

Aタイプ：数か月毎の神経内科医の診察は続けながら、症状が落ち着いている患者の定期受診や定期処方とかかりつけ医で診ていく



Bタイプ：神経難病は神経内科医で継続診療して、他科疾患診療のかかりつけ医と併診していく

